

## 単元名 時こくと時間

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 数直線などを用いて時間の仕組みを理解し、必要な時刻や時間を計算によって求めたり、秒の単位を用いて測定したりすることができる。  
 (2) 時間の仕組みを基に、時刻や時間の計算の仕方を考えることができる。  
 (3) 時刻や時間の計算のよさや秒に関心を持ち、進んで身の回りの時間の計算をしようとする。

## 標準的な展開例

03040107\_001

【準備等】時計の模型、ストップウォッチ、秒針付き時計

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 時刻と時間について考える。[p. 52・p. 53]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の学習課題をつかむ。</li> <li>★時こくや時間について調べていこう。</li> <li>○町探検の目的地に着いた時刻や目的地にいる時間を求める問題に取り組む。</li> <li>○ある時刻の何分後かを求める問題に取り組む。</li> <li>○図書館の開いている時間を求める問題に取り組む。</li> </ul> <p>2 着く時刻と、それまでにかかる時間を知って、初めの時刻を求める。[p. 54]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★時こくのもとめ方を考えよう。</li> <li>○公園を出発するとよい時刻の求め方を考える。</li> <li>○「練習問題」に取り組む。</li> <li>○60分を超える時間を何分と表したり、何時間何分と表したりする問題に取り組む。</li> </ul> <p>3 短い時間の表し方について考える。[p. 55]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○十二支を全て言うのにかかる時間を調べる。</li> <li>○秒針、時間の単位「秒」「1分=60秒」について知る。</li> <li>○ストップウォッチとその使い方を知る。</li> <li>○60秒を超える時間を、何秒や何分何秒と表す問題に取り組む。</li> <li>○ゲームを通して1秒や1分の感覚をつかむ。</li> </ul> <p>4 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 56・p. 57]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「たしかめよう」に取り組む。</li> <li>○学習の振り返りを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時計の模型を操作させ、時間の経過をつかませる。</li> <li>・町探検の計画を立てる問題の挿絵を読ませ、学習課題を把握させる。 「何時何分」が時刻で、「時刻と時刻の間」が時間であることを確認する。</li> <li>・「何分」が60分を超える場合の時間の表示の仕方を確認する。</li> <li>・解決に困っている児童には、線分図を利用して考えるように助言する。</li> <li>【評】時間を求める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・求めたい時間を正午を基準に分けて考えさせる。</li> <li>・出発する時刻と到着する時刻という、時の課題との違いを確認する。</li> <li>・解決に困っている児童には、10分刻みの線分図を利用して考えさせる。</li> <li>【評】時刻を求める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・解決に困っている児童には、直前の問題を再び想起させ、解き方を確認させる。</li> <li>・1時間=60分であることを確認し、そこから時間や分に変換する方法を伝える。</li> <li>・50m走のタイムなど、短い時間を計測した経験を想起させる。</li> <li>・十二支を全て言う活動から、短い時間を表す時に「いち・に・さん」というように秒に似たリズムで数えていることに気付かせる。</li> <li>・一番速く動く針が「秒針」、小さい目盛り1つ分が「1秒」であることを確認する。</li> <li>・ストップウォッチの使い方を説明する。(スタート、ストップ、リセット)</li> <li>・何時間何分を表す時と同じく、60を基にして分と秒を変換することを指導する。</li> <li>【評】60秒を超える時間を、何秒や何分何秒と表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・目をつぶって時間を計ったり、リズムを取るゲームを行い、楽しんで時間感覚をつかませる。</li> <li>・個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。</li> <li>・自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。</li> <li>【評】問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を理解する。</li> <li>・時刻と時間について分かったことやできるようになったこと、もっとやってみたいことなどを書かせる。</li> </ul>

## 【備 考】

本単元では、児童の身近な生活との関連を考慮して、日常生活の中から場面を取り出し、時刻と時間を楽しむ学習できるようにすることが大切である。第3学年では時計の針の動きや数直線を使って時刻や時間が求められるように、時間の経過や連続性を体感させたい。また、ゲームなどを通して1秒間や1分間の感覚をつかませたい。